

アートなまちへ
ようこそ

K A S U K A B E P U B L I C A R T

散歩に出かけたい!

春日部パブリックアート

春日部のまちかどに数多く点在するパブリックアート。市とゆかりの深い彫刻家・加藤豊さんが鑑賞のポイントを案内。江戸時代、宿場町として栄えた春日部には、往時を偲ぶ商家も残されている。歴史を感じ、アートを楽しみながら、立ち寄りしたい、おいしいお店も紹介。歩いて、見て、触って、味わって…、春日部のまちをまるごと楽しもう!

KASUKABE PUBLIC ART 春日部駅東口周辺

「彫刻のある街づくり」を機に アートがまちにやってきた

「パブリックアートの多いまちは国内に何か所かあります。しかし、春日部駅周辺ほど、有名な彫刻家の作品が一堂に集まっているまちは見たことがありません」

加藤さんが語るように、春日部駅の東口周辺や古利根公園橋、市民文化会館周辺や西口周辺など、駅から歩いて行ける距離に日本屈指の彫刻家たちによる作品20点

以上が集まっている。まちがちよつとした屋外美術館のようだ。

きっかけは平成元(1989)年の「ふるさと創生事業」。市では事業の実施にあたって市民にアイデアを公募。これをもとに市が「彫刻のある街づくりアート・アメニティ構想」をまとめた。この構想に基づき、著名な彫刻家の作品が次々と春日部のまちにやってきたのだ。

さまざまな表情を持つ 彫刻に注目を

では、早速、作品を見ていこう。

まずは、春日部駅の東口周辺。ここにはさまざまな表情を持つ彫刻が並んでいる。東口から延びるブロンズ通りにある「おでかけ」。正装して

春日部駅の方へ向いて出かけようとする

ウサギの彫刻は、子どもたちからも人気が高い。その近くにあるのは「旅人・樹陰」。すらすらとした旅人が本物の木のすぐ下でくつろいでいるように見える。

「この作品は、パーツのひとつずつを溶接しながら直にくっつけているのが特徴。作者の池田宗弘氏が始めた頃はまだ珍しい方法だったでしょう。アンデパンタン展(無鑑査、自由出品の美術展)が流行した当時、彼はスターだったと思います」と加藤さん。公園橋(西)交差点近くの「あのね」は、糸電話で遊んだ遠い日のひとこまをモチーフにしたほのぼのとした作品。ほかにこの近辺にある「詩想」「煌」なども見逃せない。

春日部駅周辺ほど
多くの彫刻が凝縮したまちを
見たことはありません



「彫刻家」加藤 豊さん

1948年、山形県生まれ。85年、第39回二紀展で宮本三郎賞受賞。86年、二紀会委員となる。89年、第43回二紀展で文部大臣賞受賞。2001年、二紀会退会。現在無所属。日本美術家連盟会員。日本美術専門学校校長。かつて春日部市に在任(現在さいたま市に在任)。



春日部情報発信館
ぶらっとかすかべ
まちの情報は、ここで入手できる。レンタルサイクル、風づくり体験もある。「クレヨンしんちゃん絵はがきセット」は要チェック!



煌(こう)
森田 やすこ





上/あのね 廣嶋 照道 下/旅人・樹陰 池田 宗弘



詩想 綿引 道郎



☆御菓子司 春日部 青柳
創業115年の老舗和菓子店。素材の
おいさを大切に季節感あるお菓
子の店。彫刻「おでかけ」をモチフに
した「彩月」は風味豊かな焼き菓子。



☆おづみ園 本店
春日部内牧に茶園を持ち、日本茶の
栽培から販売までを手がける。宿場
町にちなんだ「伝承銘茶 粕壁宿」は、
全国から注文が入る人気の銘茶。

みつけた！
おいしいかすかべ

おでかけ
藤原 吉志子



上/夏 桑原 巨守 下/フォーム 千野 茂

ジーンズ・夏 佐藤 忠良

秀逸な彫刻がずらりと
揃う古利根公園橋

春日部駅から徒歩5分のところに位置する古利根公園橋。市制30周年の記念事業として造られた、日本で初めての橋上公園だ。シラコバトをデザインした風見鶏や、市の特産品である麦わら帽子をイメージしたアーチが目を引く。「彫刻のある街づくり」の中核を担う青銅製の人物像5作品が設置されている。その一つが、日本屈指の彫刻家・佐藤忠良氏による「ジーンズ・夏」だ。

「この作品は、足組の仕方や腰に手を当てて三角形の空間を作っているところにうまさがある。奥行きや横の空間を上手に出そうとしたのです。彫刻で特に難しいとされる、土踏まずやアキレス腱もきれいに仕上がっています。それでいて、わざとお腹に肉をつけ、完璧でない人間らしさを表現しています。佐藤忠良氏のすごいところは、遠くから見ても、佐藤作品とわかるどころ。それが、彫刻の上手い人たる所以だと思います」
佐藤作品と対照的なのが、日本を代表する彫刻家・舟越保武氏の「茉莉花」だ。



月に吠える 手塚 登久夫



★丸八酒店の蔵
創業は江戸時代末期にさかのぼる歴史ある酒屋。美しい蔵を有する。藤の花から採取した花酵母を使った焼酎「かすかべ藤乃彩」を購入できる。



★光苑
全国からあげグランプリ4年連続金賞の「海鮮からあげ」は、海鮮のうまみかギュッと詰まったおいしさ。散歩途中の腹ごしらえに寄りたいたい。

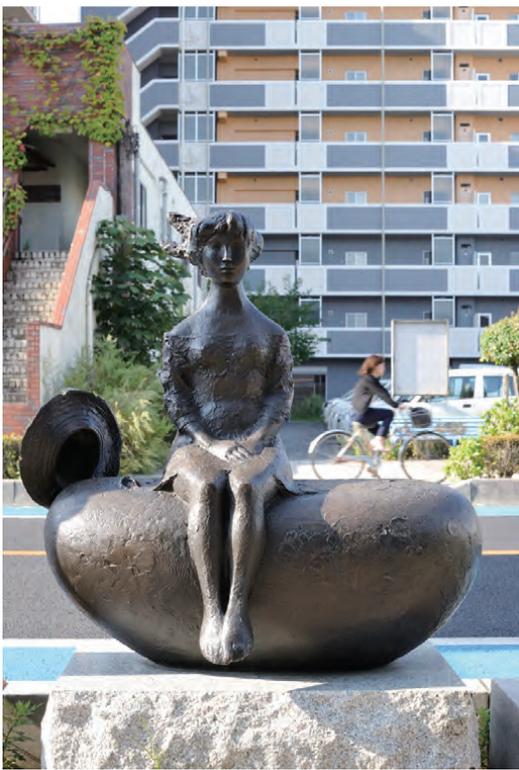


★栃惣
昭和27(1952)年の創業。保存料や添加物を使わず、厳選した国産米と水だけの生地から作られた「栃惣せんべい」は、一度は試したい味わい。

みつけた!
おいしいかすかべ

遠くから見ても「あの人の作だ」とわかる作品には力がある





上/思い出 山本正道 下/記念撮影—風が— 峯田敏郎



茉莉花 舟越保武

人間的か宗教的か
彫刻の違いは造形で見分ける

「横から見ると少し前傾しているのがわかります。立体を知っているからできることです。いわゆる観音様の作り方と同じです。観音様の前に立つて、ぼっと見上げると目が合います。『茉莉花』も同じ効果を狙っているのでしょう。乳房もお茶碗をひっくりかえしたような形で、どちらかといえば人間味がない。佐藤作品が人間的である一方、舟越作品は宗教的な雰囲気があるといえます」

また、「茉莉花」の並びには、腰かけた女性が足元に手を伸ばしている「フォーム」がある。有機的なフォルムの中に生命の鼓動を表現している作品だ。

同じ公園内の「夏」や「思い出」、公園近くの「月に吠える」「記念撮影—風が—」など、ほかにも力作が揃う。



★東屋田村本店

旧商家の構えを今に伝える「東屋田村本店」の前には日光道中の道しるべがある。天保5(1834)年のもので、日光、江戸、岩槻の3方面が刻まれている。



★永嶋庄兵衛商店

慶長年間(1596~1615年)に玄米問屋として創業した。瓦屋根の上部中央に魔除けの鍾馗(しょうき)様が飾られている。

宿場町を
感じるなまのま...



上/巢立ち 加藤豊 下/瑠韻 一色邦彦

神話II 加藤豊



みうけた!
おいしいかすかべ

★むら山
産地にこだわり吟味した素材で作る菓子に定評がある。全日本和菓子大賞を受賞した経歴を持つ「梅若塚」はお土産にも喜ばれそう。



市民ボランティアが
磨き上げ、
びかびかに変身

平成26年9月26日、市民ボランティア8人が4体の彫刻を清掃。参加したボランティアの一人、三橋正行さん(大学生)は「直に彫刻に触れる機会はないのでいい経験になった。きれいになってうれしい」と語った。

彫刻の鑑賞は
洋服選びと同じ。
気楽に楽しもう



**どろどろとした表面は
硬い粘土で作っている証拠**

市民文化会館周辺には印象的な作品が点在する。同会館の入り口前にある「神話Ⅱ」は、ギリシャ神話に登場するレダがゼウスの胸に今まさに飛び込もうとして一瞬をとらえた作品。3m20cmもの高さがあり、市内の彫刻の中でも随一のインパクトを放つ。今回の案内役・加藤豊さんの手によるものだ。

「『どうやって作ったの』とよく聞かれます。実は、FRPという素材を使っており、上のレダと下のゼウスは別々に作っています。設置するときに溶接しているのです。塗り込んでるので、見てもわかりませんが、手の上のほうで2体に分けることができます」



風の門 峯田 義郎

中央図書館の入口付近にある「道標・鳩」は、「東洋のロダン」といわれた朝倉文夫に師事した柳原義達氏の作品。

「柳原義達氏は女性の像や鳩の作品で



道標・鳩 柳原 義達



小さい花 黒川 晃彦

表現活動をしてきましたが、どちらかといえば、鳩の作品のほうが有名。普通、彫刻は粘土を乾かさないようにして作り、表面をなめらかにします。ところが、彼らはあえて乾かかけた硬い粘土で作った。だから、作品にどろどろとした量感が出て、それが持ち味になっています」

**鑑賞の仕方に決まりはない
好きな作品を見つけよう**

市民文化会館周辺には、ほかに「よういん瑶韻」「巢立ち」「小さい花」「風の門」など、個性的な作品が揃っている。

「春日部にはいろんな種類の彫刻があります。鑑賞の仕方に『こう見なくちゃいけない』という決まりはない。ファッションと一緒に、緑色が好きなら、誰が何と言っても緑色の服を選ぶでしょう。春日部のまちを歩いて、自分のお気に入りの彫刻を見つけてください」



**春日部市役所周辺にある
趣きある作品群**

市役所の庁舎正面にある「大空」は、市の鳥、ユリカモメがモチーフ。東西ふれあい通り西口公園にある「道程」は、ちょっと足を止めて自分を見つめる時間を持ってほしい、という思いが込められている。

右/道程 伊藤 正人
左/大空 加藤 豊

